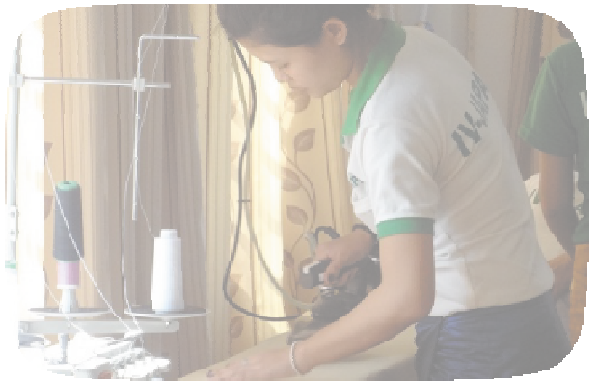
認定特定非営利活動法人
国際協力NGO・IV-JAPAN



Annual Report 2012
2012年度事業報告書

(2012 年 4 月～2013 年 3 月)

【主な事業内容】

（1）奨学金支給事業

●実施期間：通年
●資金源：IV-JAPAN
●事業実施地：タイ王国、ラオス人民民主共和国
●現地協力機関：＜タイ＞IV-JAPAN タイ財団
＜ラオス＞IV-JAPAN ラオス事務所
●支援対象：経済的理由で就学が困難な青少年
●主な活動内容及び成果：タイではタイガールガイド連盟が支援する貧困家庭の小中学校の生徒へ、または法務省 矯正局下の組織であるピブン福祉財団の協力の下、両親が受刑者のため経済的に困難な状況にある青少年を対象に奨学金を 40 名に支給した。また、ラオスにおいては主に当会の支援するビエンチャン都職業訓練センターの生徒を対象に 110 名に奨学金を支給した。奨学生からは、感謝の手紙がドナーに届けられている。

（2）ビエンチャン職業訓練上級コース･トレーナー養成事業（JICA 草の根パートナー事業）

●実施期間：2012 年 4 月～継続中 5 年間事業（2011 年 12 月～2016 年 11 月）
●資金源：日本国際協力機構（JICA）、IV-JAPAN
●事業実施地：ラオス人民民主共和国ビエンチャン都
●現地協力機関：ラオス教育スポーツ省、ビエンチャン都教育局、職業教育開発センター
●支援対象：中学・高校などを中退した青少年や、中学・高校を卒業しても技術がなく起業・就業が難しい女性や青少年（15～40 歳）
●主な活動内容及び成果：

ⅰ.職業訓練実施

2012 年 4 月から、ビエンチャン都教育局敷地内にある OJT 第一店舗、及び 2012 年 2 月に職業教育開発センター敷地内に新設した OJT 第二店舗にて、職業訓練上級コース第 10 期を調理・縫製・理美容の 3 分野で実施開始。上級コースは店舗形式になっており、レストラン・ブティック・ビューティーサロンにて訓練生自身が経営に携わり、収益は訓練生で按分する。職業技術・知識だけでなく、経営基礎知識・衛生管理・接客応対・英会話などの起業・就業に有益となる技術・知識習得が目的である。

ⅱ． ビエンチャン都教育局及び職業教育開発センターの人材育成

ビエンチャン都教育局及び、職業教育開発センターが 2016 年のハンドオーバー後に単独での上級コース運営を可能にするため、スタッフの能力強化を実施。2012 年 4 月の新学期開始以降、次第に OJT 店舗運営管理、指導、訓練の目的、意義を理解して行えるようになった。年度後半では国内外から専門家を招聘し、『衛生管理』『カスタマーサービス』『スモールビジネスマネージメント』等の講義を実施した。

ⅲ． 職業訓練上級コース教材・マニュアルの開発

当会スタッフの指導の下、OJT コーディネーターマニュアル及び職業訓練校運営マニュアルの作成、

上級コース専用の教科書、カリキュラムを作成中。2016 年 11 月のハンドオーバー前に完成させるよう、ビエンチャン都教育局及び、職業教育開発センターと協議を行ないながら作業を進めている。

ⅳ． トレーナーの育成

将来的にラオス全国各地（各県もしくは郡）の短期職業訓練所でトレーナーとなる人材を育成。関連機関と連携をとり、2012 年 5 月から職業教育開発センター所属の調理・縫製分野トレーナーに初級・中級・上級コースを受講させ、3 月末に上級コース修了。2 月に実施したトレーナー養成講座も受講し、トレーナー資格を取得した。2013 年 3 月にはタイのウドンタニから美容専門家を招聘し、美容トレーナー対象に集中トレーニングを行った。今後も引き続き各県・郡の関連機関に協力を要請し、トレーナー育成を進めていく。

（3）ナーサイトン郡職業訓練事業（外務省 NGO 連携無償資金協力事業）

●実施期間：2012 年 3 月～2013 年 2 月（2 年次）*3 年間事業　継続中(2014 年 10 月終了予定)
●資金源：日本国外務省 NGO 連携無償資金協力、IV-JAPAN
●事業実施地：ラオス人民民主共和国ビエンチャン都ナーサイトン郡
●現地協力機関：教育スポーツ省、ビエンチャン都教育局、ナーサイトン郡教育課
●支援対象：中学・高校などを中退した青少年や、中学・高校を卒業しても技術がなく起業・就業が難しい女性や青少年（15～40 歳）
●主な活動内容及び成果：前年度に引き続き、調理・縫製・美容分野で 2012 年 3 月から第 3 期初級コース（2 ヶ月）、5 月から第 3 期中級コース（3 ヶ月）、9 月から第 4 期初級コース(2 ヶ月)、11 月から第 4 期中級コース（3 ヶ月）の職業訓練を実施。海外（日本・タイ）専門家及び国内専門家による短期集中トレーニングや近隣縫製工場へのスタディーツアーなども取り入れ、起業・就業に有益な技術や知識を指導した。また、プロジェクト終了後のラオス政府機関へのハンドオーバーに向けて、熟練した技術を持つトレーナーの育成、ナーサイトン郡教育課に対する運営・管理能力の強化を行った。

（4）木工家具職業訓練初級コース

●**実施期間**：2012 年 6 月 4 日～6 月 29 日、10 月 1 日～26 日
●**資金源**：東京ウィルライオンズクラブ、IV-JAPAN
●**事業実施地**：ラオス人民民主共和国ビエンチャン都
●**現地協力機関**：ラオス教育スポーツ省学校制度外教育開発センター
●**支援対象**：中学・高校などを中退した青少年や、中学・高校を卒業しても技術がなく起業・就業が難しい女性や青少年（15～40 歳）
●**主な活動内容及び成果**：6 月のコースに訓練生 7 名、10 月のコースに訓練生 14 名（内 2 名女性）が参加し、家具製作機械の使用方法、学生用ベンチ・学習机、教師用デスク・椅子、会議用デスク、本棚、黒板等の製作訓練を実施。訓練参加者の知識・技術の向上を行った。

（5）学校施設整備支援事業

●**実施期間**：2012 年 6 月 1 日～11 月 30 日
●**資金源**：さいたま国際交流協会（SIA）、IV-JAPAN
●**事業実施地**：ラオス人民民主共和国シェンクアン県
●**現地協力機関**：シェンクアン県教育スポーツ局
●**支援対象**：シェンクアン県ベーク郡ナムトム小学校、ノンヘト郡タムスア村小学校
●**主な活動内容及び成果**：ナムトム小学校生徒に快適な学習環境を提供するための校舎を修繕。また、ナムトム小学校及びノンヘト郡タムスア村小学校の 2 校の生徒に対し、1 年～5 年生の教科書 450 冊、生徒用机・イス 30 セット、教師用机・イス 3 セット、黒板 3 つ、就学前児童用ミニ黒板 50 個、スポーツ用具、冬服等総額 19,980,000kip 相当を寄贈し、上記 2 校の子供たちの教育環境改善、ひいてはラオス人民の教育発展に寄与した。

（6）マイクロファイナンスローン事業（職業訓練修了生開業支援)

●**実施期間**：2012 年 11 月
●**資金源**：夢屋
●**事業実施地**：ラオス・ビエンチャン都
●**支援対象**：職業訓練上級コース修了生
●**主な活動内容及び成果**：理美容分野上級コース卒業生 2 名、縫製分野卒業生 2 名の合計 4 名に対し、年利 4%で 2 年以内に返金するという条件の下、各自に対し 400 万 kip の貸付を行った。

（7）青少年の収入向上のための木工職業訓練事業事前調査

●**実施期間**：2013 年 1 月～2 月
●**事業実施地**：ラオス・ビエンチャン都、教育省学校制度外教育センター
●**主な活動内容及び成果**：松本重樹専門家を 6 週間派遣し、木工職業訓練の事前調査を行った。

（8）第 16 回ラオススタディーツアー

●実施期間：2011 年 11 月 25 日～12 月 4 日
●資金提供源：IV-JAPAN
●主な活動内容及び成果：当会会員の中から参加者を募り 15 名が参加。ビエンチャンでの当会職業訓練所、過去に建設支援した小学校を視察の他、シェンクアン県への寄贈品贈呈式にも同席し、ラオス地方の現状や当会活動内容に対する理解を深めた。

（9）文京学院大学インターン派遣制度大学予備調査受入

●実施期間：2012 年 8 月
●主な活動内容及び成果：文京学院大学人間学部コミュニケーション社会学科、加藤佐和子教授が来年度からのインターン派遣予備調査のためラオス事務所を訪問した。毎年 2 名程度の学生を 1 ヶ月受け入れることとなった。